

「学校評価・情報提供の充実・改善に向けた取組」

学校評価における 専門的助言の活用

愛媛県教育委員会

愛媛県のこれまでの取組

平成18年度～平成20年度

「学校評価システム構築事業」

○成果

- ・よりよい学校評価の在り方についての実践研究
- ・学校評価実践事例集の作成、配付

○課題

- ・第三者評価導入に向けての調査研究
-
- 

愛媛県のこれまでの取組

平成21年度

「学校経営第三者評価研究事業」

○成果

- ・第三者評価を円滑に実施するための手だてについての実践研究
- ・「第三者評価の手引き」の作成、配付

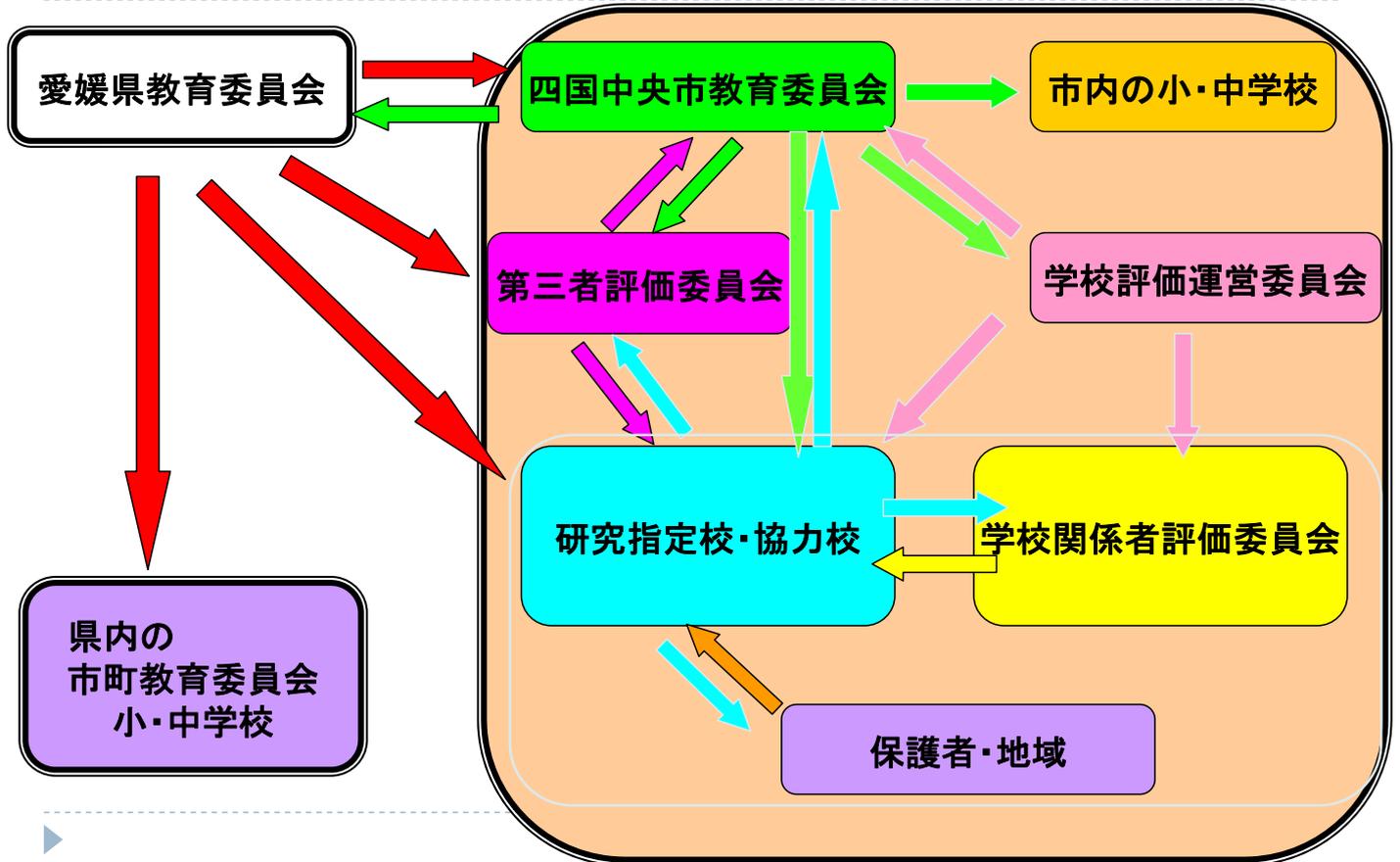
○課題

- ・「第三者評価の手引き」に基づいた学校評価システムの構築と充実に向けての検証
-
- 

学校評価推進事業

- 1 学校の課題解決のための支援の在り方
 - 2 学校評価の充実のための研修の在り方
 - 3 学校評価の定量的な測定の方法
-
- 

学校評価推進事業



四国中央市における実践研究

- コンサルテーションによる専門的助言の活用
- 第三者評価報告書のまとめ方
- 情報提供の仕方
- 保護者集団構造分析ツール・P-TRUST2009による実態把握

「学校改善につながる 評価システムの確立」

愛媛県四国中央市教育委員会

四国中央市の概要

平成16年度 2市1町1村合併 ⇒ 7年目

人口約9万3千人

四国4県を結ぶXハイウェイ

⇒ 「青い国四国」の中心部

自然豊かな紙の町

小学校 19校	中学校 7校
---------	--------

児童生徒数	7497名
-------	-------

県費教職員数	588名
--------	------

教育基本方針重点施策

- 1 教職員の資質能力の向上
- 2 確かな学力の定着と向上
- 3 生徒指導の徹底と健全育成

4 特色ある学校づくりの推進

○学校評価システムの構築

○積極的な情報発信

○自己評価、学校関係者評価の改善・充実

○第三者評価の実践研究

- 5 安全・安心な学校づくり

これまでの取組

<成果>

- 外部アンケート等を活用した自己評価の工夫
- 保護者・学校関係者・地域住民から広く意見を求める手立て

<課題>

- ☆ 結果公表の方法の学校間による違い
- ☆ 学校関係者評価方法 ⇒ 意見聴取、自由記述
- ☆ 実施状況と課題の共通認識
- ☆ PDCAサイクルの機能検証の手立て

研究課題

「学校評価における 専門的助言の活用」

ねらい

1 教職員の意識改革と学校改善

← コンサルテーション

2 学校評価システムの確立

← 学校関係者評価・第三者評価

実践研究内容

〈教育委員会の実践〉

1 学校評価運営委員会による学校運営の活性化

2 学校経営第三者評価委員会の設置

新たな気づき ⇒ 学校改善プログラム

3 学校評価コンサルテーションの導入

課題認識と改善方策の追究への支援

4 学校評価関係者研修の充実: 目的の共通認識

具体的方策の共有化

☆評価される ⇒ 共に考える ⇔ 支援者

実践研究内容

〈研究指定校・協力校の実践〉

- 1 グランドデザインとの関連性
⇒ 自己評価結果と改善方策の策定
- 2 専門的助言を生かした実践研究
第三者評価結果に基づく改善プログラムの策定
学校関係者評価委員会の効果的運営
- 3 市内全小中学校への普及啓発
管理職研修等での問題提起と実践報告

☆ 校長のリーダーシップ ⇒ 教職員の能動的取組

四国中央市教育委員会の
具体的取組内容

1 学校評価運営委員会の設置

- 構成メンバー:教育委員会外部評価委員
学識経験者、PTA連合会、校長会、教頭会
- 目的:学校経営活性化の支援
- 内容:学校訪問(授業参観、教職員との面談)
実施状況の把握と協力体制関係づくり
学校関係者評価の在り方検討
(共通項目設定、評価方法、)
(評価委員の人選
⇒小・中の交流、
管理職の相互理解)



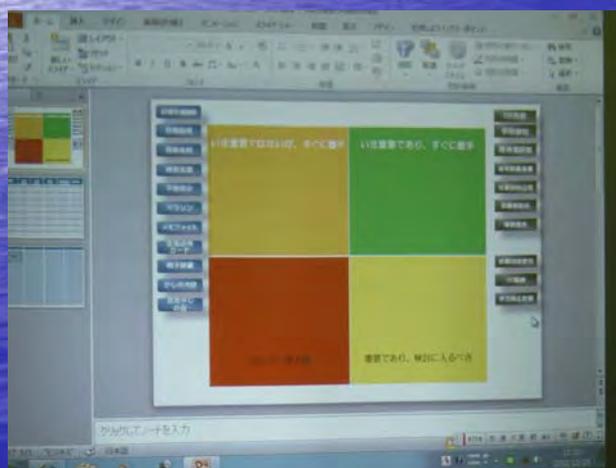
2 学校経営第三者評価委員会

- 設置要綱の整備
 - 訪問型:県作成の手引きを活用
- ☆評価項目の弾力的運用(共通項目)**
- ☆管理職の能動的経営⇔日常実践の充実**



3 学校評価コンサルテーション

- 学校関係者評価委員会の運営改善
- 情報発信の方法、内容の工夫改善と継続
(具体的、視覚的、動画の活用等)
- 保護者意識調査の実施 ⇒ 信頼関係



4 学校評価関係者研修の充実

- (1) 管理職等研修の充実
- (2) 学校関係者評価委員講演会



(1) 管理職等研修の充実

『信頼構築につながる学校関係者評価の在り方』

成果

①学校関係者評価の改善

⇒ 保護者啓発の質と量、方法

②人を動かす評価結果

・成果指標に基づくデータ収集と分析結果

③学校改善に必要な4要素

・分析的、概念的、技術的、人間関係的

④課題発見と達成感のバランス

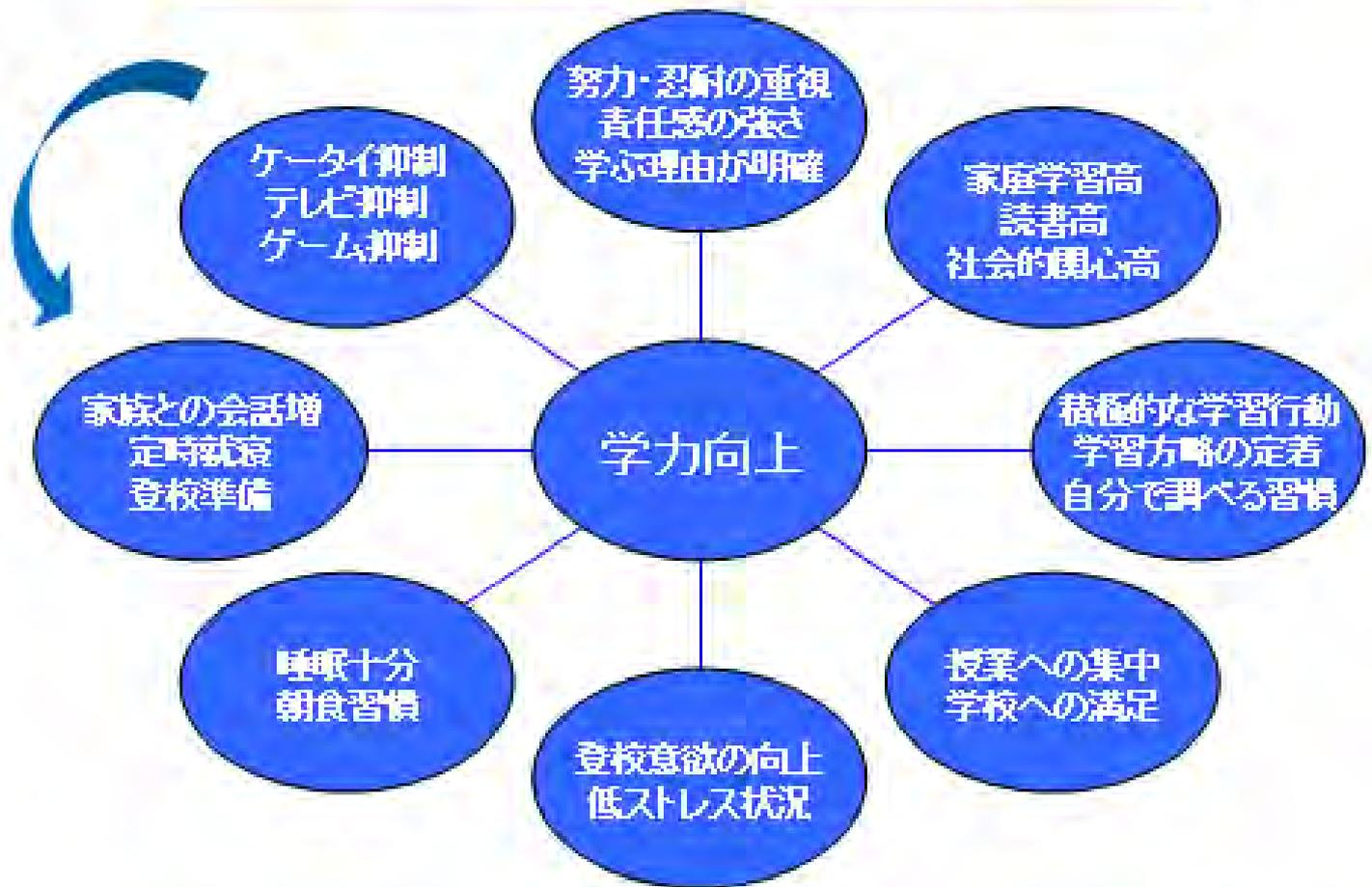
⇔ 『自らやる評価』

学校関係者評価 期待される効果

- 保護者・地域住民と学校との関わりが深まる
- 学校の取組について保護者・地域住民から共感的な理解を得られる
- 学校関係者評価を実施するプロセスで学校の理解者・協力者が増える



学力向上のポジティブサークル



(2) 学校関係者評価委員研修会

『評価を学校改善につなげるために』

成果

①学校を見る視点の共通化

②学校・家庭・地域の連携行動目標の共通認識

キーワード:「聞く」⇒「見る」⇒「話す」

参加者:市内各小中学校評価委員・教職員 187名

講師:愛媛大学教育学部 准教授 露口 健司先生

学校関係者評価委員

アンケート結果考察

＜これまでの取組から＞

○学校行事や授業公開等の
参観

○管理職との**対話**の重要性

○学校通信・グランドデザイン等による**情報収集・実態把握**

○**評価委員会**の重視
☆**保護者との連携**

＜今後の取組として＞

市内共通実践事項

○情報発信の**継続・工夫改善**

○評価委員会の**機能的運営**

○行事等の参加・授業参観の**機会の確保**

**研究指定校・協力校の
具体的取組内容**

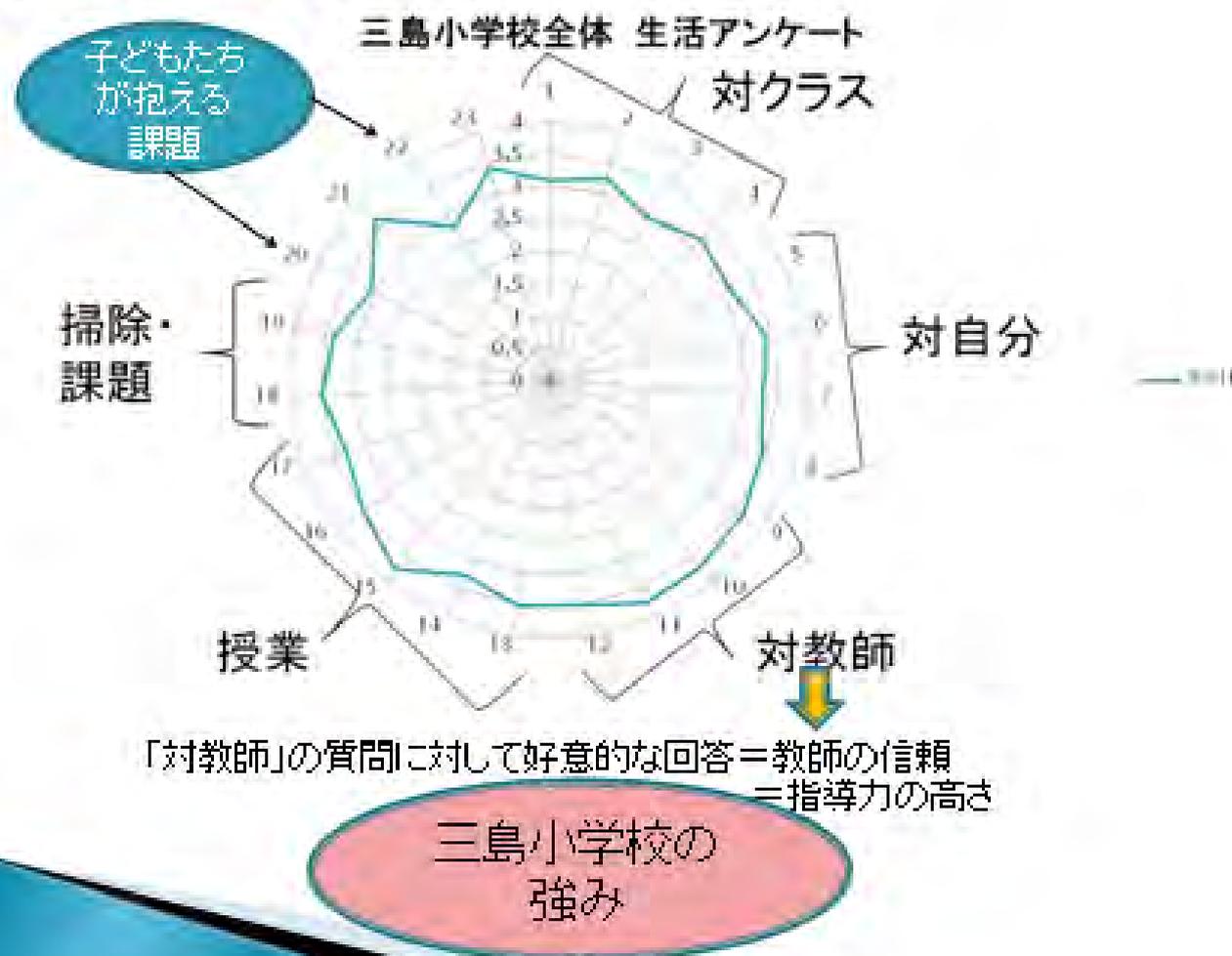
<三島小学校>



- 1 自己評価結果分析と
改善プログラム作成
- 2 コンサルテーションと
第三者評価結果の活用

- 1 自己評価結果分析と
改善プログラム作成
ワークショップ型校内研修の実施

児童生活アンケート結果から



よさと課題ワークショップ

日頃の先生と子どもたちの関わりから

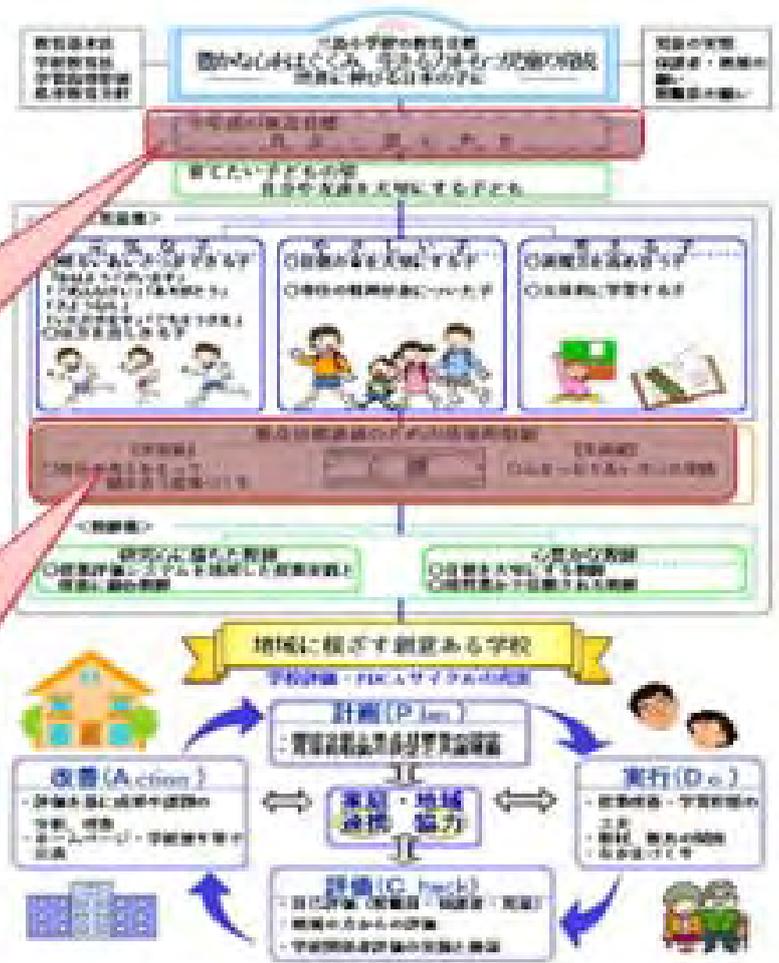
- ▶ そこからわかる三島小学校の子どものよさと課題を
- ▶ 全教職員で出し合い確認する



グランドデザイン への位置づけ

「自主・思いやり」が
全ての教育活動で
展開

「具体的取組」
学習面と生活で
一点突破



2 コンサルテーションと 第三者評価結果の活用

学校関係者評価委員会の運営改善
評価項目、評価方法、開催日程、
情報発信、人選、人数等

第三者評価委員会報告(中間まとめ)について

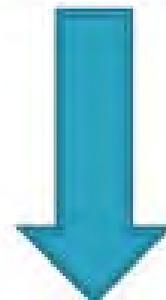
評価の内容

- (1) 学校運営の状況
- (2) 授業の状況
- (3) 教職員研修
- (4) 生徒指導
- (5) 児童生徒の人格的発達の状況
- (6) 情報提供の状況
- (7) 保護者・地域社会との連携の状況



成果と課題

学校評価コンサルテーション



学校運営に生かす

第3回コンサルテーションより(課題解決)

重要ではないが、すぐに着手

重要であり、すぐに着手

- ・管理職による見守り
- ・関係者評価
- ・保護者啓発
- ・情報提供

第3回第三者評価委員会で取組説明

もう少し様子を見る

重要であり、検討に入る

- ・HP充実
- ・学校参加
- ・若年教職員研修
- ・教職員の地域行事参加

- ・かしの木隊
- ・グランドデザイン
- ・学力向上プラン

三島小学校実践の成果（中間まとめ）

○評価結果と改善への助言・支援

⇒ 具体的実践

評価への抵抗感(評価される)の軽減

⇒ *サイクルの定着 ⇒ 恒常的実践*

○具体的な指導内容

⇒ *視点(行動目標)の明確化*

「何をめざすのか」共通理解・共通実践

児童・教職員の意欲化(還元)

<川之江北中学校>

1 自己評価結果分析の工夫改善

2 第三者評価結果の活用

3 生徒の生活習慣、

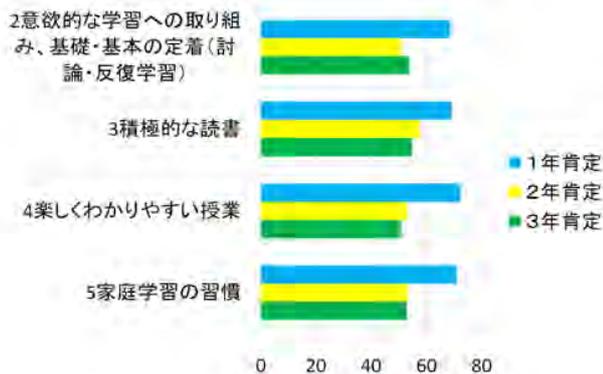
保護者の学校信頼度調査



1 自己評価結果分析の工夫改善

生徒・保護者・教職員の相対的評価

自ら学ぶ生徒＜保護者結果＞



肯定の生徒

項目	全校
17生徒の心身の健全育成を目指した部活動(がんばり抜く部活)	72.2
12自主的かつ協力的な学校、学年、学級の活動	68.0
15ものを大切に、意欲的な清掃活動(無言清掃等)	66.5
1学校の実態に合った本校の教育目標	65.3
11生徒の思い出に繋る学校行事	64.8
13生徒一人一人の希望進路の実現に向けた適切な指導	62.8
16積極的なボランティア活動(ブルタブ回収運動等)	62.4
10生徒の人権意識を高める指導	61.5
9生徒の道徳心を高める指導	61.4
19保護者や地域に積極的な情報提供・地域の教育力の活用	61.3
7共通理解のもと、生徒一人ひとりを大切にした生徒指導	61.0
6規範意識を持った生活(ア・ハ・ハ運動=あいさつ、はきもの、はいの活等)	60.9
3積極的な読書	60.5
14生徒一人一人の特性に応じた指導	60.4
18清潔で安全、安心して生活できる施設・設備	60.1
8家庭学習の習慣	58.9
8いじめがなく、楽しい場所	58.8
4楽しくわかりやすい授業	58.7
2意欲的な学習への取り組み、基礎・基本の定着(討論・反復学習)	57.7

肯定の教職員

項目	全校
17生徒の心身の健全育成を目指した部活動(がんばり抜く部活)	100.0
3積極的な読書	100.0
1学校の実態に合った本校の教育目標	100.0
15ものを大切に、意欲的な清掃活動(無言清掃等)	95.2
7共通理解のもと、生徒一人ひとりを大切にした生徒指導	95.2
4楽しくわかりやすい授業	95.2
16積極的なボランティア活動(ブルタブ回収運動等)	90.5
14生徒一人一人の特性に応じた指導	90.5
13生徒一人一人の希望進路の実現に向けた適切な指導	90.5
10生徒の人権意識を高める指導	90.5
9生徒の道徳心を高める指導	90.5
11生徒の思い出に繋る学校行事	85.7
19保護者や地域に積極的な情報提供・地域の教育力の活用	81.0
8いじめがなく、楽しい場所	81.0
12自主的かつ協力的な学校、学年、学級の活動	76.2
6規範意識を持った生活(ア・ハ・ハ運動=あいさつ、はきもの、はいの活等)	76.2
2意欲的な学習への取り組み、基礎・基本の定着(討論・反復学習)	66.7
18清潔で安全、安心して生活できる施設・設備	61.9
8家庭学習の習慣	58.9

肯定の保護者

項目	全校
17生徒の心身の健全育成を目指した部活動(がんばり抜く部活)	72.2
12自主的かつ協力的な学校、学年、学級の活動	68.0
15ものを大切に、意欲的な清掃活動(無言清掃等)	66.5
1学校の実態に合った本校の教育目標	65.3
11生徒の思い出に繋る学校行事	64.8
13生徒一人一人の希望進路の実現に向けた適切な指導	62.8
16積極的なボランティア活動(ブルタブ回収運動等)	62.4
10生徒の人権意識を高める指導	61.5
9生徒の道徳心を高める指導	61.4
19保護者や地域に積極的な情報提供・地域の教育力の活用	61.3
7共通理解のもと、生徒一人ひとりを大切にした生徒指導	61.0
6規範意識を持った生活(ア・ハ・ハ運動=あいさつ、はきもの、はいの活等)	60.9
3積極的な読書	60.5
14生徒一人一人の特性に応じた指導	60.4
18清潔で安全、安心して生活できる施設・設備	60.1
8家庭学習の習慣	58.9
8いじめがなく、楽しい場所	58.8
4楽しくわかりやすい授業	58.7
2意欲的な学習への取り組み、基礎・基本の定着(討論・反復学習)	57.7

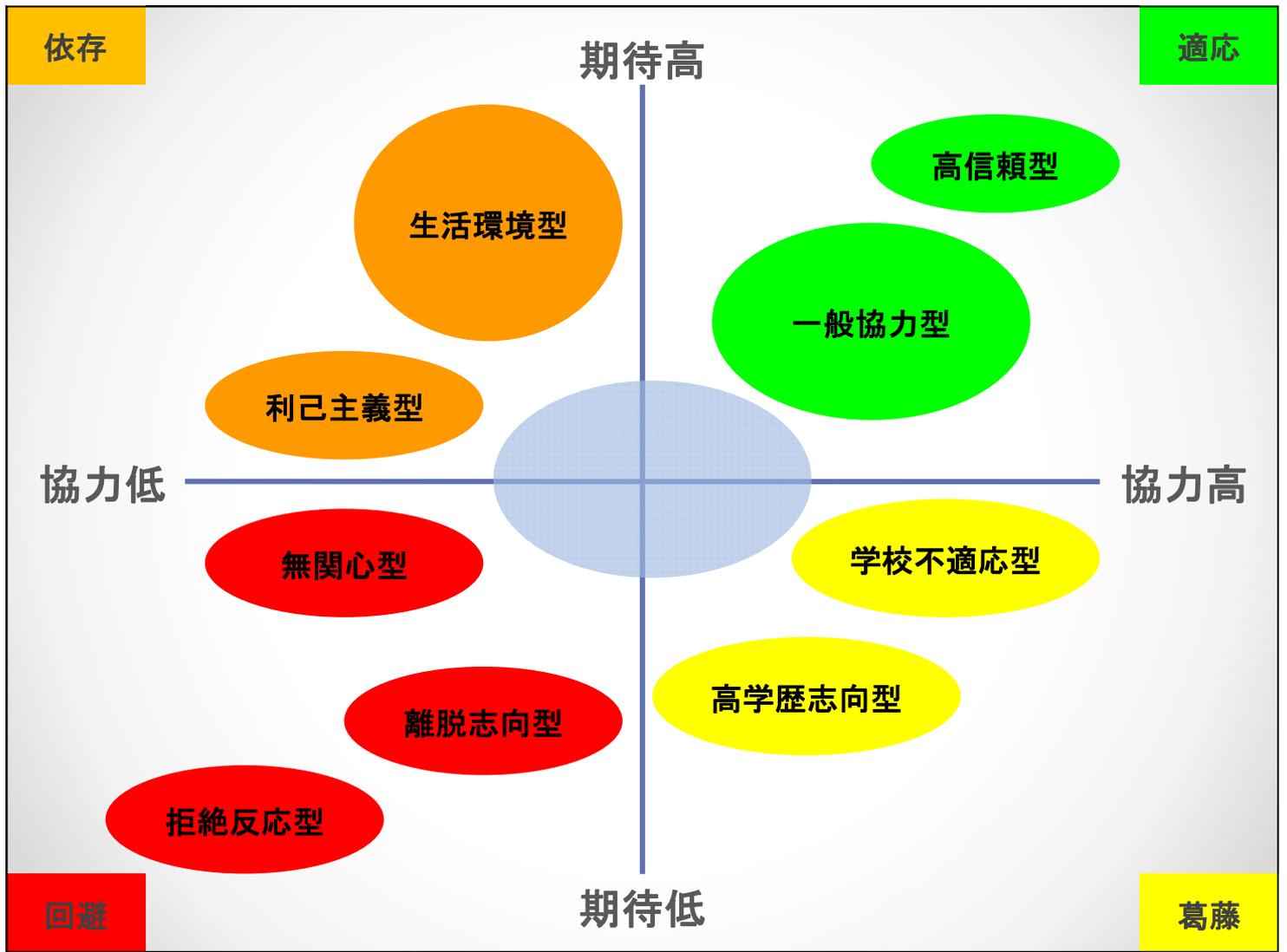
2 第三者評価結果の活用

学校関係者評価委員会の機能的運用

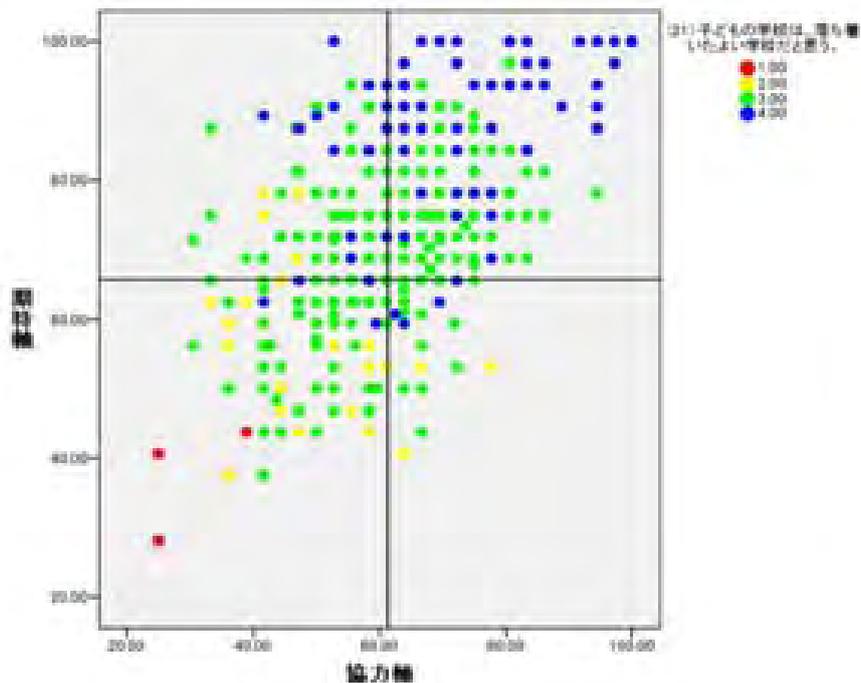
3 生徒の生活習慣、

保護者の学校信頼度調査

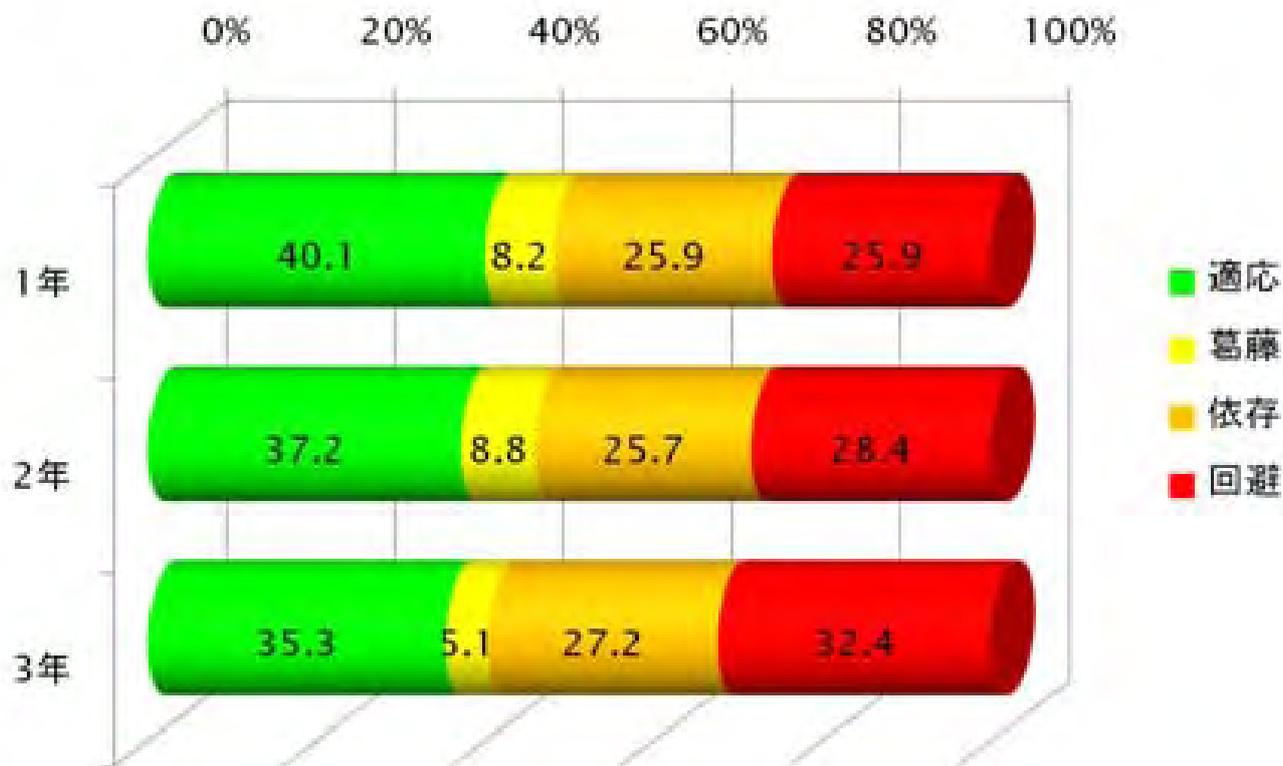
⇒ 実態把握 ⇔ 課題の明確化



落ち着いたよい学校だと思う



保護者セグメント比率 学年別



**四国中央市今後の取組
～次年度に向けて～**

PDCAサイクルの機能検証の手立て

- 1 学校評価運営委員会の効果的運用
- 2 学校関係者評価の改善
 - (1)共通項目の設定と活用
 - (2)人材リスト作成
- 3 学校関係者評価委員連絡会(仮称)の開催
- 4 管理職等研修の継続

☆信頼構築のためのキーワード ⇒ 『対話』

☆管理職のリーダーシップを基盤とする教職員集団

『意識の共通化』と『実践の共有化』



御静聴ありがとうございました